

## 【2025年最新調査】検索ツールの使い分け、どう変わった？「検索エンジン・SNS・AI」、目的別の最新トレンドを発表！

～YouTubeでの検索が主流に！？注目のAIもランクインし、さらにバリエーション豊かになった検索手段の最新ランキング～

人を基軸としたマーケティング事業を展開するLIDDELL株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：福田 晃一、以下リデル）は、「検索で使用するツール」に関するアンケート調査をインフルエンサーに向けて実施いたしました。

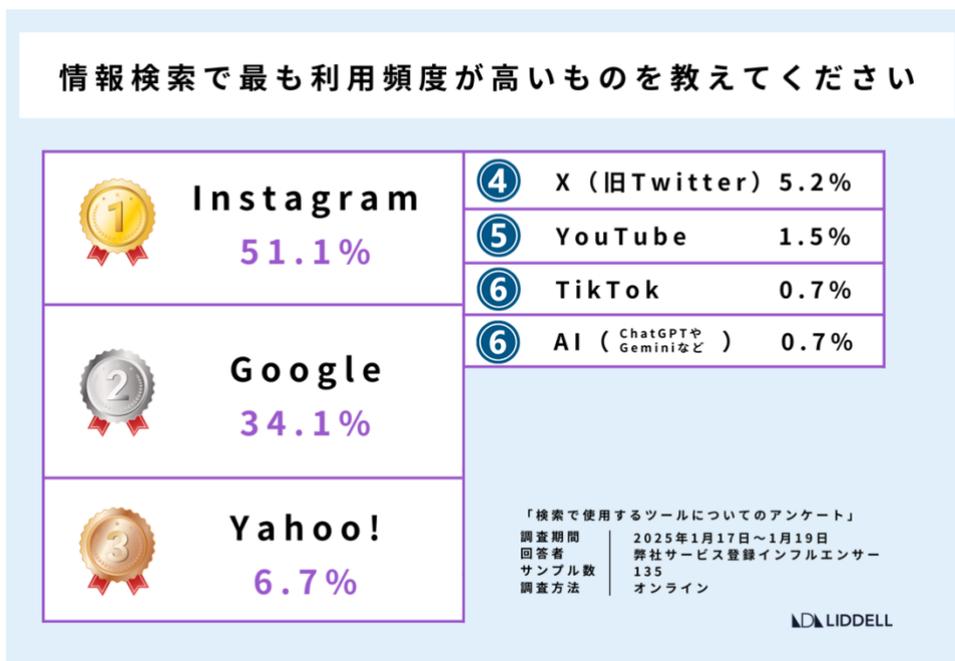
Instagram、X、TikTok、YouTube等のSNSを満遍なく利用するユーザーへの調査の結果、51.1%が情報を検索する際にInstagramを最も頻繁に使用していることが明らかになりました。また「AI」や「YouTube」を使用した検索も増加傾向。本調査では、日常的にどのようなツールを使用して情報が得られているかを探ることで、今後のマーケティング戦略における有益な示唆を提供いたします。



リデルでは、2016年から「検索に使用するツール」について度々調査をしてまいりました。新たなSNSなども登場するなかで、2025年の今、検索ツールとして最も使用されているのは果たして――？

今回は当社運営のマーケティングプラットフォーム LIDDELL INFLUENCER WORKSPACE (LIW) に登録しており、Instagram、X、TikTok、YouTube 等の SNS を満遍なく利用するインフルエンサーの中から、ランダムに 135 名を選定し「検索で使用するツール」について行ったアンケート調査の最新結果をレポートいたします。

■ 51.1%がInstagramを「情報検索で最も利用頻度が高い」と回答。



アンケートの結果、Instagramを「情報検索の際に最も使用する」と回答したインフルエンサーが過半数を超える結果となりました。

次いで検索エンジンである Google が3割強、Yahoo!も3位にランクインするなど依然として根強い支持を得ています。

4位にはXがランクインし、約5%は検索ツールとして“最も”使用頻度が高いと回答していることがわかりました。

注目のAI (ChatGPT や Gemini など) は 0.7%とわずかですがランクイン。AI は現時点では「生成する」「相談する」などがメインの使われ方で、まだ「検索を一番」に想起させるものではないようです。ただ、検索ツールとしての有用性を感じる人は少ない一方で「最も情報検索で使用する」と回答した方が存在し始めている結果は注目ポイントです。

今後は、情報検索の新たな手法としてAIがシェアを高めてくるかもしれません。

■ 2番目に使用するツールではXが追い上げ。検索の目的別に使用か。

## 情報検索で2番目に利用頻度が高いものを教えてください

 <b>Instagram</b> 28.1%	<b>4</b> Yahoo! 8.1%
 <b>Google</b> 26.7%	<b>5</b> YouTube 7.4%
	<b>6</b> AI ( ChatGPTや Geminiなど ) 3.7%
 <b>X (旧Twitter)</b> 21.5%	<b>7</b> 人 ( 家族や知人など ) 2.2%

「検索で使用するツールについてのアンケート」  
調査期間 2025年1月17日～1月19日  
回答者 弊社サービス登録インフルエンサー  
サンプル数 135  
調査方法 オンライン

LIDDELL

「情報検索で2番目に利用頻度が高いもの」として、先ほどに続きInstagramが首位を獲得。

3位には検索エンジンのYahoo!を押しつけ、Xが21.5%と数値を伸ばしランクインしています。

情報検索において、テキスト検索だけでは得られない直感的な情報収集を目的としてInstagramの使用が一般的になっていることは既に認知されていますが、「即時性・口コミの豊富さ」といった点からもXが多く支持されていることがわかります。

同じ口コミといった観点では、7位に「人(家族や知人など)」との回答が2.2%を獲得しランクイン。アナログながら信頼のおける人からの情報を参考にしたいという意見が見てとれます。

### ■ 3番目ではさらにSNS強し！14.1%がYouTubeを使用し情報を検索している

## 情報検索で3番目に利用頻度が高いものを教えてください

 <b>Instagram</b> 17.8%	<b>④ Google</b> 12.6%
 <b>X (旧Twitter)</b> 15.6%	<b>⑤ 人 (家族や知人など)</b> 11.1%
	<b>⑥ Yahoo!</b> 8.9%
 <b>YouTube</b> 14.1%	<b>⑦ AI (ChatGPTやGeminiなど)</b> 5.9%
	<b>⑧ 新聞、雑誌、本</b> 4.4%
	<b>⑨ Threads</b> 3.7%
	<b>⑩ LINE</b> 2.2%
	<b>⑪ Facebook</b> 1.5%
	<b>⑪ Pinterest</b> 1.5%
	<b>その他</b> 0.7%

「検索で使用するツールについてのアンケート」

調査期間：2025年1月17日～1月19日 / 回答者：弊社登録インフルエンサー / サンプル数：135 / 調査方法：オンライン

LIDDELL

「情報検索で3番目に利用頻度が高いもの」としては、Instagramに次いでXが2位に数字を伸ばしています。さらに注目すべきは3位にランクインしたYouTube。動画プラットフォームという特性からも検索性としては弱いのでは？と思われましたが、「3番目に利用頻度が高いもの」への回答ということから、別のツールを用いて検索した後、「さらに深掘りする際やHOWTO検索」としてYouTubeを活用しているようです。

4～6位には検索エンジンや口コミが入りましたが、7位にはAIが5.9%を獲得しランクイン。1.5%差で一つ下には「新聞、雑誌、本」が入っており、「オールドメディアを抑えてのAIのランクイン」に、情報としてAIに信頼を置く人が増えていることを感じます。

### ■ 検索ツールとしても使用される代表SNSを特徴別にまとめると

複数のSNSがランクインした結果を踏まえ、リデルでは今、SNS別に「どう検索されているか」を分析。下図のように目的に沿った検索をされていることがわかりました。



## 2025年、SNSはこうして検索で使用されている

### Instagram



#### 体験情報検索

美味しかったものや  
行ってよかった場所など  
「誰かの体験」を検索し  
参考にする

### X (旧Twitter)



#### リアルタイム検索

即時性のある情報が  
集まる特徴を活かした  
リアルタイム検索に  
使用される

### YouTube



#### HowTo検索

より詳しく  
より細かく確認できるため  
HowToを検索する目的で  
使用される

LIDDELL

#### <Instagram = 体験情報検索>

美味しかったもの、行ってよかった場所など「誰かの体験」を検索し、参考にする人が多いことがわかりました。従来の口コミと同様、同じ価値観を持つ人を見つけやすく、さらに視覚的にわかりやすく情報が得られることも検索ツールとして使用される理由でしょう。

#### <X = リアルタイム検索>

即時性のある情報が集まる特徴を活かし、リアルタイム検索に使用されることが多いようです。各地の天気や観光地の混雑情報、各種イベント等の状況などリアルタイムに「今知りたいこと」を検索し、参考にする人が多いSNSです。

#### <YouTube = HowTo 検索>

動画という特徴から、端的に情報を取得するには不向きですが、レシピ動画、気になる旅先のレポート……など、より詳しく・より細かく確認できるため HOWTO を検索する目的で使用されることがわかりました。また、深い知識を持ったクリエイターが多いことから専門性が高い検索等にも有効であるようです。

インフルエンサーにとって、情報収集は日常的な業務の一環ともいえ、今回の調査は頻繁に使用する検索ツールに関する意識と実態を明らかにすることを目的といたしました。その結果、現在検索では目的別にツールを分け、ユーザーはタイプ良くセグメントされた情報を取得していることが分かりました。

当社では今後も SNS やインフルエンサーを定点観測してマーケティングに有益な情報をお伝えしてまいります。

<調査概要>

調査期間：2025年1月17日～1月19日

調査対象：LIDDELL INFLUENCER WORKSPACE (LIW) に  
登録するインフルエンサー 50,000人より有効回答者 135名

平均フォロワー数：3万人

調査方法：オンライン

男女比率：男性2割／女性8割

平均年齢：32歳

【本件に関するお問合せ】

リデルでは本プレスリリースに関する内容のほか、「SNS・インフルエンサー」「ファン・コミュニティ」「コミュニティ AI」関連の市場動向、トレンド、ナレッジ、各種データなどを共有すると共に、取材を積極的に受けております。また弊社役員や専門スタッフ、インフルエンサーに関する取材も承っております。お気軽にお問い合わせください。

リデル株式会社

担当：神尾

メール：pr@liddell.tokyo

[企業情報]

リデル株式会社 / LIDDELL Inc.

コーポレート URL：<https://liddell.tokyo/>

[LIDDELL INFLUENCER WORKSPACE / LIW]

SNS 施策がオールインワン！運用型の SNS・インフルエンサーマーケティングプラットフォーム

URL：<https://service.liddell.tokyo/>

[KAL /カル]

業務最適化やコミュニティ AI に。社内情報を学習した、自社プライベート生成 AI の提供

URL：<https://liddell-tokyo.studio.site/>

【本件に関する報道関係のお問合せ】

リデル株式会社 担当：神尾

メール：[pr@liddell.tokyo](mailto:pr@liddell.tokyo)

電話：03-6432-9806